

安心安全な歯科治療をめざして

パートⅢ

当院における新型コロナウイルス感染症対策の一例

緊急事態宣言を受け

新型コロナウイルス

うつらないために、うつさないために

当歯科クリニックが出来ること

コロナで皆様が不安であるのと同様に、私自身も日々不安で仕方がありません。
全世界が時期にこんなことを言うことが正しいのか分かりませんが、歯科医師として少しでも皆様の不安を取り除ける事は何か考えてみました。

そのきっかけとなったのが、朝の情報番組のいちコーナーで、都会の歯科医院で働く歯科衛生士が「マスクがなく約3日で一枚、グローブがなく一日に一枚で使いまわし。歯科医院も生活がある。しかし、こんなことしてるなんて患者さんには言えい。」という内容のものでした。

私も奥さんに言われたことが「あなた自身がコロナになったら必然的にクリニックを閉めるけど、私がコロナかもしれなく、検査結果が出るまで自宅待機を言われたどうする？ただの風邪かもしれんのやけど、」と聞かれて、直ぐに閉めるよと言えなかった自分がいました（反省）。

さて、今回お話したいのは、「備えあれば患いなし」です。当クリニックは以前から感染予防をしっかりと考えておりました。そのため、いつも半年分はストックしております。下記の写真はR2.4.15現在の当院の備蓄です。テレビで放送されているようにマスク・グローブは全く手に入りませんし、消毒液や衛生関係品は品薄状態ですが、当クリニックでは暫くは胸を張って「今まで通り安心安全な治療を行っております」と言えます。



紙エプロン



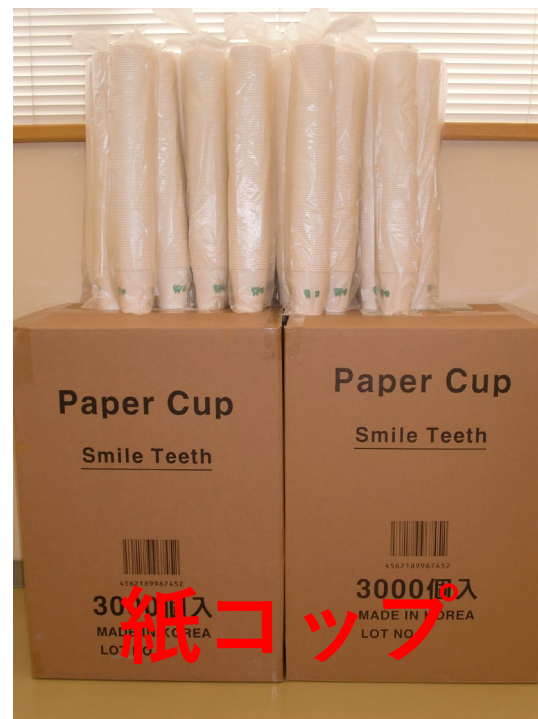
マスク



消毒用エタノール



除菌ウェット
ティッシュ



紙コップ



グローブ



滅菌パック

続きまして、歯科治療においてエアロゾル・飛沫感染が危険と言われておりますが、当クリニックのエアロゾル・飛沫感染対策を紹介したいと思います。

その①チェアーの間隔は2メートル以上あり、仕切りもあります

その②口腔外バキュームを有し、排気はフィルターを通し外に出ます

その③空気殺菌消臭装置・加湿器・サーキュレーター・空気清浄機・オゾンの酸化力

その④換気扇・窓開け、受付にビニールカーテン

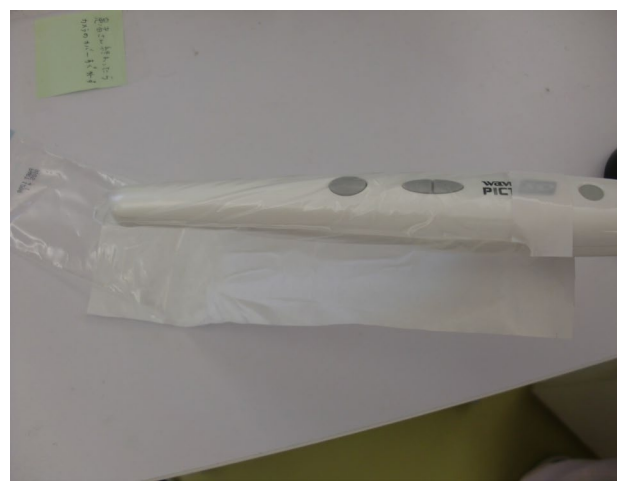
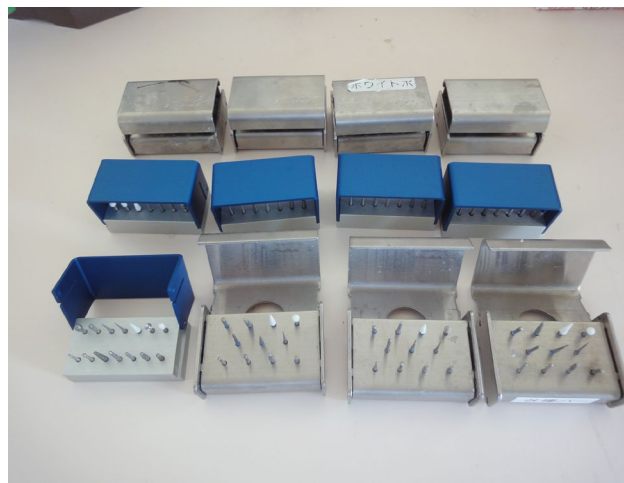
その⑤ゴーグル・シールド・マスク

アメリカの研究グループによるとエアロゾルの状態で3時間生存と言っていますが、日本の厚生労働省は「国内データでは証拠はない」と3月17日ぐらいに言っていますが、未知のウイルスですので念には念を入れております。





普段から、当クリニックは感染予防に力を入れています。
一回使ったら消毒しパックして滅菌しております。
カメラなど滅菌できない物は使い捨てカバーをしております。
更に、使い捨てや患者さん毎に管理するようにしております。
消毒液もノンケミカル等も採用しております。



最後に接触感染・3密対策等私達スタッフ一同出来ることを色々考えておこなっております。

その①ドアの取っ手・椅子・スリッパ・鏡・トイレ等の手に触れるものの消毒の強化

その②来院時、帰宅時のアルコール消毒推奨

その③治療前のうがい実施

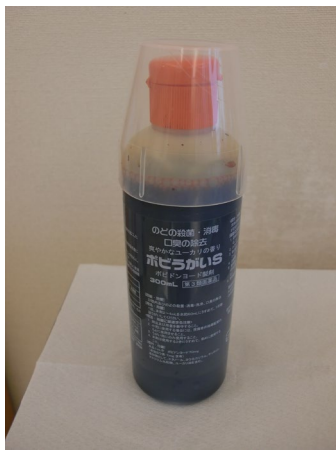
その④時短診療（時短営業）、スタッフの時差出勤、勤務時間の短縮

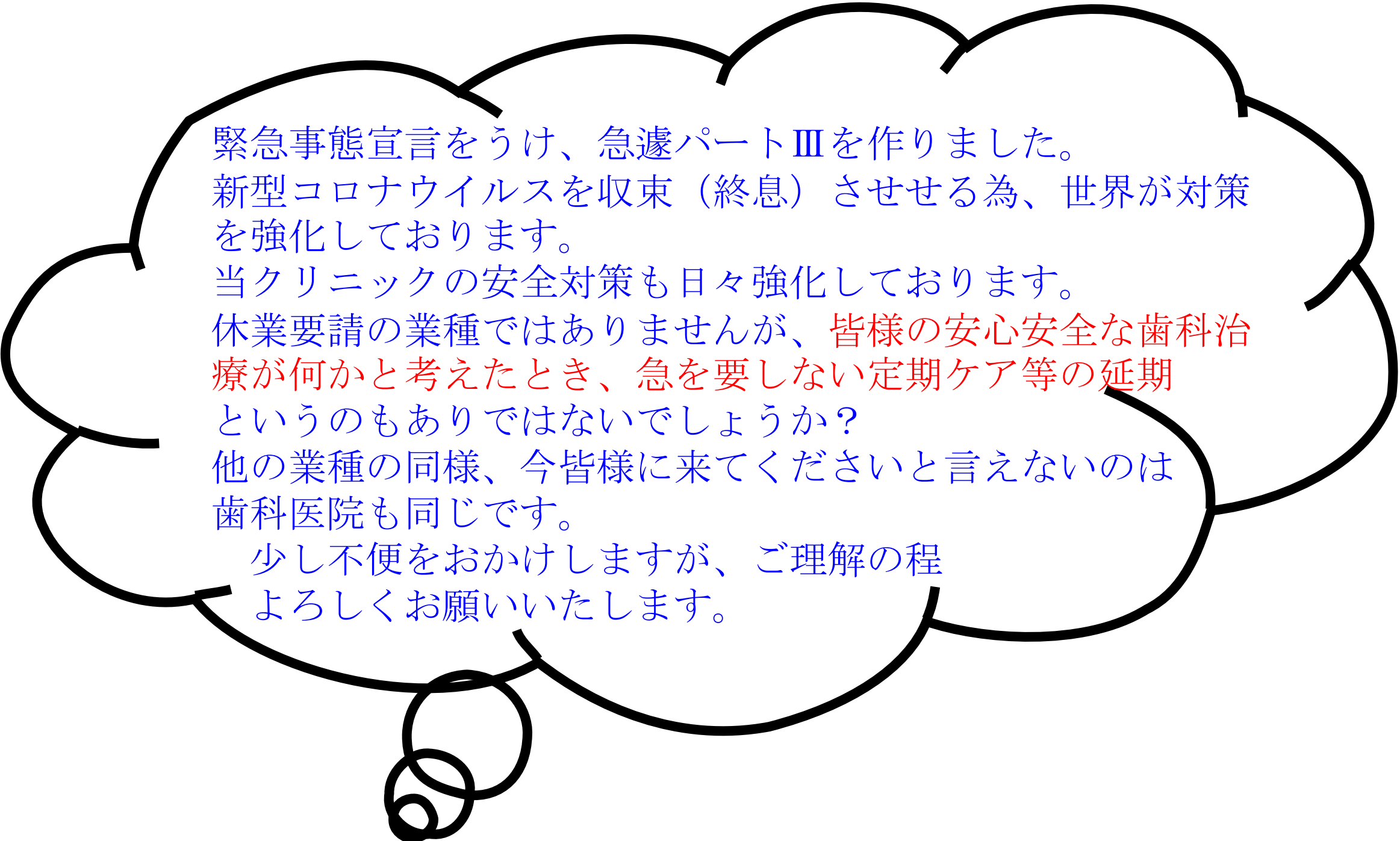
その④患者さんの治療内容・時間、予約の取り方

その⑤スタッフの必要最低限のアシスト及びゴーグル着用

その⑥キッズルームスペースのおもちゃ・library撤去 等々

これは歯科に限らず、飲食店やスーパー等色々なところで推奨されていることを、当クリニックでも取り入れています。





緊急事態宣言をうけ、急遽パートⅢを作りました。
新型コロナウイルスを収束（終息）させせる為、世界が対策
を強化しております。
当クリニックの安全対策も日々強化しております。
休業要請の業種ではありませんが、皆様の安心安全な歯科治
療が何かと考えたとき、急を要しない定期ケア等の延期
というのもありではないでしょうか？
他の業種の同様、今皆様に来てくださいと言えないのは
歯科医院も同じです。
少し不便をおかけしますが、ご理解の程
よろしくお願いいたします。